令和元年

産米改善重点推進事項

農家の皆さん！適期刈取により、高品質・良食味米生産に努めましょう。

注意！ **新米の放射性物質検査結果が出るまで、出荷・販売・譲渡は行わないでください。**
検査結果は、県のホームページを確認いただくか、広域振興局や農林振興センター・市町村・JAにお尋ねください。

県内の水稲の出穂盛期は、平年より１日早い８月４日頃となりました。本年は開花～登熟初期の８月前半が高温多照で経過したため、登熟の進みが早く、各地域とも刈取適期が早まることが予想されます。

籾の黄化状況の観察やテスト籾摺りにより刈取適期を見極めるとともに、ベストタイミングで収穫できるよう、早目の準備を心がけましょう。

早期落水を避けましょう

●早すぎる落水は、玄米の充実不良、白未熟粒や胴割粒の増加にもつながりますので避けましょう。

適期刈り取りに努めましょう

●刈り遅れは、玄米の光沢不足や、乳白・茶米・胴割粒等の増加につながり、品質を大きく損ねます。籾の黄化状況をよく観察し、適期刈り取りに努めましょう。
また、倒伏や水口側などの登熟の遅れが目立つ部分は、刈り分けを行いましょう。

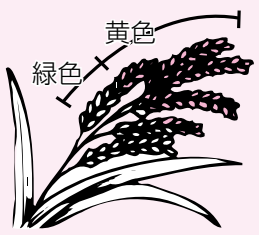
❶刈り取り

●少し活青米が混入する程度の時期。
●早目に刈り始め、適期内に終了すること。

❷刈取適期の判断

●籾の黄化状況による判断

１穂の籾８～９割が黄色になり、穂基部の籾の１割くらいに緑色が残っている時期。適期刈取判定シートの活用や、テスト籾すりなどにより登熟状況を確認すること。登熟にバラツキが多いときは、平均的な株で判断すること。



❸品質向上のための刈り分け

●水口など**登熟の遅れているところは、刈り分け等**を行い品質の向上に努めること。
●**倒状および病害虫等**の被害を受けたところも刈り分けをすること。

●出穂後の日平均気温積算値による刈取適期の目安

品　種　名	刈取適期の積算気温(℃)
ひとめぼれ	900～1050
ササニシキ	1000～1150
金色の風、銀河のしずく、どんぴしゃり、いわてっこ、かけはし	950～1050
あきたこまち	950～1100
ヒメノモチ、もち美人	950～1050
めんこもち	1000～1100

※注意:刈り遅れは乳白粒の混入と胴割米を増加させます。

●令和元年度地域別出穂状況と刈取適期の予測

岩手県農林水産部農業普及技術課

農業地域	出穂期 本年 始期	盛期	終期	出穂期 平年差 始期	盛期	終期	刈り取り始めの目安（※8/21まで現況値）日平均気温の積算温度950℃到達日（月／日） 本年 始期	盛期	終期	平年差 始期	盛期	終期	使用アメダス地点
盛　岡	8/1	8/4	8/8	-2	-3	-3	9/12	9/16	9/22	-5	-7	-6	雫　石
紫　波	7/29	8/2	8/4	-2	-2	-5	9/6	9/12	9/15	-6	-5	-9	紫　波
八幡平	8/3	8/6	8/10	2	1	1	9/15	9/20	9/26	0	0	0	岩手松尾
花　巻	7/31	8/3	8/6	-2	-2	-3	9/9	9/12	9/17	-5	-5	-5	花　巻
北　上	8/2	8/5	8/8	-1	-2	-3	9/10	9/15	9/19	-4	-4	-5	北　上
遠　野	8/1	8/5	8/9	-1	0	-1	9/12	9/18	9/24	-3	-1	-2	遠　野
西和賀	8/1	8/4	8/8	-2	-2	-2	9/13	9/17	9/23	-5	-5	-5	湯　田
奥　州	7/30	8/3	8/7	-2	-1	-1	9/6	9/12	9/18	-6	-4	-3	江　刺
一　関	7/30	8/1	8/5	-2	-3	-2	9/6	9/9	9/14	-5	-6	-4	一　関
大船渡	7/30	8/4	8/18	-3	-1	7	9/8	9/15	10/8	-6	-3	13	大船渡
釜　石	7/29	8/3	8/7	-4	-2	-2	9/6	9/14	9/19	-8	-4	-4	釜　石
宮　古	8/2	8/6	8/10	-1	-1	-1	9/15	9/20	9/25	-2	-2	-2	宮　古
岩　泉	7/31	8/3	8/8	-3	-3	-2	9/12	9/16	9/24	-6	-6	-3	岩　泉
久　慈	8/4	8/7	8/13	0	0	1	9/18	9/22	10/1	-1	-1	1	久　慈
二　戸	8/2	8/5	8/9	1	0	0	9/14	9/19	9/25	0	0	0	二　戸
軽　米	8/3	8/6	8/10	0	-1	-1	9/17	9/22	9/28	0	-1	-1	軽　米
北上川上流	8/1	8/4	8/8	-1	-2	-2	9/11	9/16	9/21	-4	-4	-5	
北上川下流	7/31	8/3	8/7	-2	-2	-2	9/8	9/12	9/18	-5	-5	-3	
東　部	7/31	8/5	8/9	-3	-1	-2	9/11	9/17	9/24	-4	-3	-1	
北　部	8/3	8/7	8/11	0	1	0	9/16	9/21	9/27	-2	-2	-2	
県全体	7/31	8/4	8/8	-2	-1	-2	9/9	9/14	9/19	-5	-4	-4	

※始期：10%終了、盛期：50%終了、終期：90%終了した日
※平年：平成21～30年。平年差の「-1」は平年より1日早く、「1」は平年より1日遅いことを示す。
※刈り取り始めの目安：各アメダス地点の日平均気温について、8月21日まで現況値、同22日以降は平年値を使用し出穂日の翌日から起算した積算値が950℃となる日とした。
※実際の刈り取り適期は、栽培管理の状況や今後の気象経過によって、上記目安日と前後する場合があるので、籾の黄化状況をよく観察するとともに、テスト籾摺りにより、玄米の成熟状況を確認すること。

産米改善三大目標

過乾燥・胴割米の追放
（二段乾燥の推進）
水分仕上げ
15.0%以下

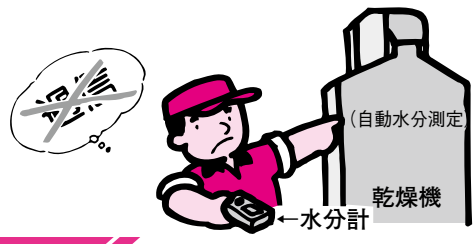
適期刈取の厳守
（着色粒の発生防止）
品位仕上げ
整粒歩合
80%以上

異物・異種穀粒混入防止
（鉄片・ガラス類）
一等米比率
95%以上

過乾燥に注意し、胴割米の発生を防止しよう!

乾燥仕上げ（玄米水分15.0%以下）

適正な乾燥仕上げは、
食味を増し、貯蔵性を高め、
精米加工が容易となります。



❶自然乾燥

●風通しのよい乾きやすい場所に棒ガケ、ハセガケしましょう。

●ムラのない乾燥とするため、晴天日にカケ替えて下さい。

●**自然乾燥は2週間程度を目安に**、乾燥が不十分な時は乾燥機で仕上げてください。水分が19%以下のときは、乾燥機の送風温度を下げ（40℃位）、乾燥速度は1時間当たり、0.6%としましょう。

❷火力乾燥

●**籾水分のバラツキが大きい場合は、二段乾燥**をしましょう。

●**4%以上の水分差のある籾は、一緒に張込しないで下さい。**

●刈り取った籾は、堆積しないで乾燥機で通風して下さい。

●**張込量は最低基準量以上に投入**し、少ない場合は送風温度を下げて乾燥して下さい。

●乾燥機の自動水分測定は目安です。過信しないで、乾燥終了近くでは手動の水分計で常温になった籾を測定して下さい。

●**1時間当たりの乾燥速度は、**循環式では基準「**0.8%以下**」を守って下さい。（酒米は0.5%以下）

●籾水分が19%以下の場合は0.6%／hrの乾燥速度で行って下さい。

●**バーナーの停止水分を目標より0.5～1.0%高めに設定**し、仕上げ水分の確認は手動の水分計を使用して下さい。

項　目	問題点	対応策
・高水分籾 ・登熟ムラ ・濡れ籾 ・収穫時間差がある ・玄米水分のもどり	・水分ムラが発生 ・高水分籾、高速乾燥による品質、食味、発芽率の低下 ・循環ムラ ・乾燥終了後に精玄米水分が変化する（粗玄米は変化しない）	・水分ムラを少なくするため初期は通風循環を行う ・高水分籾の場合は送風温度を5～10℃下げる ・二段乾燥により水分のバラツキを解消する ・自動水分計の停止を高めに設定して仕上げは手動で行う
・損傷粒、立毛胴割れが多い	・不稔が多いと損傷粒が多くなる ・品質、食味の低下	・送風温度を下げ（5～10℃）、二段乾燥を行う 自動水分計の停止水分を高めに設定し仕上げは手動で行う
・張込み量が少ない	・循環速度が早まる	・70%以上の充填に努める ・各乾燥機の基準に従って、送風温度を決定する
・晴天時、夜温が低い	・毎時乾減率が高まることがある	・毎時乾減率は、外気温の影響を受ける。晴天時や夜温が下がった時は、毎時乾減率が高まるので、各乾燥機の基準に従って、送風温度を下げる

【乾燥機の停止水分判定表（15.0%以下仕上げ）】
（玄米水分15.0%以下に仕上げるために）

100粒中の青米粒	乾燥機を止める玄米水分	乾燥機停止後の水分変化
0～5粒	15.5～15.1%	乾く
6～10粒	15.0～14.5%	ほとんど変わらない
11粒以上	14.5%	戻る

調製出荷

調製は品質を高める
最も大事な作業です。

●未熟粒（くず米）、被害粒、死米を除き、異物・異種穀粒混入の防止に努め、品位の高い米に調製して下さい。

●**整粒歩合80%以上の一等米が望まれています。ライスグレーダー粒選別では、1.9㎜ふるい目を使用して品質のよい米に仕上げて下さい。**

●個袋出荷に関しては、皆掛重量30.5kgを必ず確保して下さい。

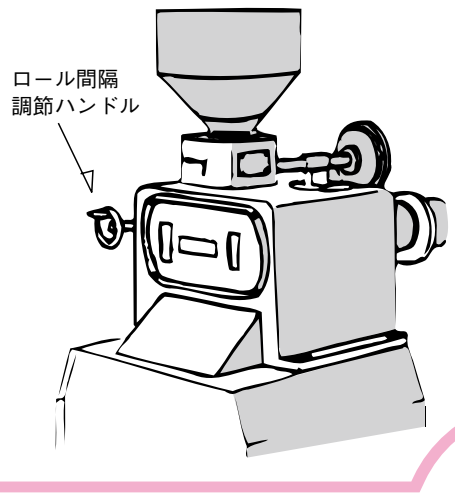
脱ぷ・胴割・肌ズレに気をつけましょう。

❶コンバイン収穫

●こぎ胴の高速回転は脱ぷ粒や胴割米、砕粒の発生となるので、規定の指示回転で行って下さい。
●朝露のある場合、走行速度を落として作業をして下さい。標準走行速度0.4～0.6m/秒
●**青立ちや病害虫による被害を受けた稲は混ぜないようにして下さい。**

❷籾摺り

●ロールの摩耗の程度を確認して下さい。
●ロールの調節は籾の厚さの約1/2（0.5～1.2㎜）、脱ぷ率は85%を基準（80～90%）として下さい。
●肌ズレ（粒面に白い点が表われる）や砕粒が発生しないか確認して下さい。



令和元年度 岩手県農作業安全運動スローガン

「夕暮れ時　もう少しと思う心にブレーキを」

岩手県農産物改良種苗センター・岩手県